

# 150 年目の『不思議の国の アリス』を原書で読む(後編)

2015 年は『不思議の国のアリス』出版 150 周年の年にあたり、世界各地で記念イベントも計画されています。『アリス』はイギリス文化を知る上でも重要なテキストであり、この本の言葉遊びの感覚は原書でなければ味わうことはできません。この機会に『アリス』を英語で読んで、なぜこの作品がこれほどまでに愛されているのかを考えてみましょう。

- ◆日 時：平成 27 年 10 月 3 日・10 月 10 日(土) 10:30～12:00
- ◆会 場：サテライトキャンパスひろしま(広島市中区大手町 1 丁目 5-3 県民文化センター)
- ◆講 師：県立広島大学人間文化学部国際文化学科 教授 吉本和弘
- ◆募集人数：30 名
- ◆対 象：どなたでも
- ◆受 講 料：無料
- ◆申込方法：往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③名前(ふりがな)、④電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前(〇〇様)をご記入の上、平成 27 年 9 月 17 日(木)(消印有効)までに、下の申込先にお送りください。申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報(個人情報は)県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

- ◆申込・問合せ先：〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71  
県立広島大学地域連携センター「アリス講座」係  
電話(082)251-9534(平日9:00-18:00)

- ◆主 催：県立広島大学地域連携センター
- ◆後 援：日本ルイス・キャロル協会

## 《 内 容 》

第3回 10月3日

### 『鏡の国のアリス』のすべてが逆転した世界

『不思議の国のアリス』の好評に応じて書かれた続編『鏡の国のアリス』はより洗練された論理や規則に支配された世界であり、その最大のテーマは逆転です。何がどう逆転しているのか、原文から考えます。



第4回 10月10日

### 『アリス』の映画化の歴史について

映画が発明された直後に映画化された『不思議の国のアリス』は、以後、何度となく映画化されてきました。ディズニーのアニメ版が一番有名ですが最初は全くの不評でした。いくつかのおもな映像をお見せしながら、その歴史を探ります。



\*第1回・第2回は平成27年5月30日、6月13日に開講しました。